

日本人 2 型糖尿病患者における糖尿病神経障害と勃起不全との関連

【背景】

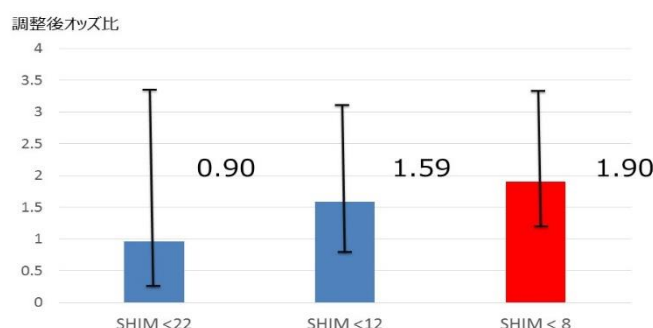
勃起不全は、性機能障害のひとつで、生活の質を低下させます。糖尿病における勃起不全の有病率は、非糖尿病と比べて高率で、なかでも糖尿病神経障害と勃起不全との正の関連性が報告されています。しかし、日本人糖尿病においては下肢の自覚症状と勃起不全との関連についての報告があるものの、一定の基準に基づいた糖尿病神経障害と勃起不全との関連については明確ではありませんでした。

【方法】

道後 STUDY に参加した 1051 名のうち、65 歳未満でデータ欠損のない 287 名の男性 2 型糖尿病を対象としました。自記式質問調査票によって飲酒や喫煙などの情報を取得し、糖尿病神経障害の定義は、日本人の糖尿病神経障害の簡易診断基準に基づき、勃起不全は SHIM (The Sexual Health Inventory for Men) score で、8 点未満を重症勃起不全、12 点未満を中等度から重症勃起不全、22 点未満を勃起不全と定義しました。交絡因子として年齢、body mass index、糖尿病罹病期間、喫煙、高血圧、脂質異常症、虚血性心疾患、脳卒中、HbA1c を補正しました。また、糖尿病網膜症は福田分類に基づき、糖尿病腎症は eGFR が 30 未満とマクロアルブミン尿で定義を行いました。

【結果】

糖尿病網膜症、糖尿病腎症は単変量では中等度から重症の勃起不全、重症の勃起不全と関連がありましたが、交絡因子で補正後関連は消失しました。糖尿病神経障害も重症例とのみ正の関連性がありました [OR 1.90 95%信頼区間 1.08-3.38]。



【結論】

日本人 2 型糖尿病においては、糖尿病神経障害は重症の勃起不全とのみ関連があるのかもしれない。

【出典】

Furukawa S, Sakai T, Niiya T, Miyaoka H, Miyake T, Yamamoto S, Maruyama K, Ueda T, Senba H, Todo Y, Torisu M, Minami H, Onji M, Tanigawa T, Matsuura B, Hiasa Y, Miyake Y. Diabetic peripheral neuropathy and prevalence of erectile dysfunction in Japanese patients aged < 65 years with type 2 diabetes mellitus: The Dogo Study. Int J Impot Res 2017; 29: 30-34.